

きずな

2007年 9月 6日

NO 665

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (62-6200)

井原市議会 9月定例会

10日から25日まで

一般質問は12・13日

9月5日、井原市議会議会運営委員会（佐能委員長）が開かれ、井原市議会9月定例会の日程などを話し合いました。

日程は9月10日に開会し、25日までの16日間と決まりました。一般質問は12日・13日で、12議員が質問することになっています。

一人でも多くの方が傍聴においでください。以下発言の項目を質問順にお知らせいたします。

12日の一般質問

谷本 仲弥議員

1. 協働のまちづくりについて
2. 家庭ごみ有料化の導入について

川上 武徳議員

1. 美星国保診療所について
2. 救急患者の受け入れ体制について

大滝 文則議員

1. 市長就任後1年経過した現在の考え方について
2. 市民病院の抜本的刷新について
3. 新市将来構想・建設計画について

森下 金三議員

1. 健康増進事業と地域活性化事業について
2. 有害鳥獣対策について

河合 建志議員

1. 川相小学校の施設使用の覚書の改正について
2. 農業用ため池の安全管理について

鳥越 孝太郎議員

1. 少子化対策の充実強化について
2. 鉄道井原線の福山駅乗り入れの増便、岡山・倉敷駅乗り入れについて

13日の一般質問

佐藤 豊議員

1. 災害時応援協定と減災対策について
2. 自治体のメタボリック対策について
3. 生涯学習の拡充について

右上へつづく

左下からつづく

水野 忠範議員

1. 地震災害の予防と対策について

宮地 俊則議員

1. 井原市民の健康について
2. 市街地における国道の歩道整備について
3. 空き家対策について
4. ごみ問題について



森本 典夫議員

1. 市立幼稚園の全園で給食の実施を

現在、芳井、美星両地区と西江原幼稚園では、給食を実施していますが市立幼稚園の全園で給食を実施していただきたい。

2. 地区公民館に設置しているパソコンの更新を

旧井原市内では平成12年頃から、生涯学習の一環として、数台（平均5台）のパソコンを地区公民館に設置しましたが、年数がかなり経過しております。新しいパソコンに更新をしていただきたい。

3. 行政対象暴力の発生状況とこれに対応する全職員（職場）への対策は

全国的には行政対象暴力に頭を痛めている自治体が多々あります。井原市ではこれまでの発生状況はどうなのでしょう。また、行政対象暴力に対応する全職員（職場）への対策をどう立てておられますか。

4. 市長の公約実現の結果（実績）と実現に向けての今後の取り組みは

市長は就任して1年が経ちました。1年前、たくさんの重要な選挙公約を掲げられましたが、1年経った今、公約実現の内容（結果）をどう分析しておられますか。

また、実現していない重要な公約について、今後どう取り組んでいかれるお考えなのでしょう。

5. 市内の看板などの総点検を行い、早急に必要処置を

市内には、市や県が設置した案内看板や道路標識及びカーブミラーなどがたくさんあります。しかし、腐食して見えにくくなっている看板や茂った木で隠れている道路標識があり、看板や道路標識の用をなしていないものがあります。また、カーブミラーは向きが悪くカーブミラーの用をなして

2面左上へつづく

1面右下からつづく

ないところがあります。

市民の安全を守るため、各種看板や道路標識及びカーブミラーなどの総点検を行い、改善や取りかえが必要なものについて、市が対応するなり、県関係のものは県へ連絡するなり、早急に必要な処置をとっていただけないでしょうか。

6. 鳥獣による農作物被害に対して農林課に猿やイノシシ等が駆除できる専門家を配置し、市独自で迅速・的確な対応ができる体制の確立を

全市的に鳥獣による農作物被害は後を絶ちません。しかし決定的な対策を取るのには難しいというのが実情です。

そこで、農林課に猿やイノシシなどが駆除できる専門家を配置し、市独自で被害情報に迅速・的確に対応ができる体制を確立してはどうですか。

7. 井原市民病院の移転地として購入した地蔵平の利用計画は。また、市が保有している遊休地の実情と利用計画は

市民病院の移転地として購入した地蔵平は、長年放置されたままになっています。このままいつまでも放置したままということにはならないと思います。今後の利用計画も含め、どうされるお考えですか。

また、市内に点在している市が保有している遊休地の実情と、それらの利用計画がありますか。なお、このまま放置していると一年間で、どの程度の予算(費用)がかかることになりますか。

鳥越 勇議員

1. 農業行政について
2. 平櫛田中旧住宅兼アトリエの運用について

石井 敏夫議員

1. 多重債務者救済の窓口を設置して自治体の援助体制の充実を



サラ金などの高金利のために多重債務に陥った人が、今なお全国で二百数十万人いるといわれています。昨年12月に抜本改正された貸金業規制法では、多重債務の救済に向け、政府を挙げて取

右上へつづく

左下からつづく

り組むことがうたわれました。

政府が内閣官房に設けた多重債務者対策本部の有識者会議は、カウンセリング体制の整備やセーフティネットの充実などを強調するとともに、多くの多重債務者の救済には自治体の援助体制の充実が急務と指摘しています。市民に身近な自治体が対策に取り組む例が少しずつ増えています。



本市ではどのような援助体制をお考えですか。

多重債務者救済のための専門相談窓口を充実し、相談窓口における対応を充実してはどうですか。

多重債務者の早期発見、救済のため庁舎内連絡会を設置し、ネットワーク体制を確立してはどうですか。

多重債務者救済にあたっている弁護士会、司法書士会、警察署、支援団体などとのネットワークを作り、連絡を密にしてはどうですか。

多重債務問題解決に向けての広報活動を徹底してはどうですか。

多重債務問題を総合的に解決するため、生活福祉資金貸付制度や生活保護制度を積極的に活用し、その広報活動に努めてはどうですか。

2. 市内のすべての水路がきれいに清掃できるようにしては

本市では、5月第3日曜日をクリーンキャンペーンの日として、その日を中心に各地域で公園、道路、水路などの清掃や草刈りなど、安心して住みやすい地域づくりのために市民総参加で奉仕作業に取り組んでいます。

しかし、高齢化が進み地域によっては水路の側溝ぶたの取り外しが困難なために清掃が長年できていない箇所があります。また、交通安全上作業が困難なために清掃ができていない箇所もあります。そこで

側溝コンクリートぶた脱着機が市にあることを市民に知らせてはどうですか。

交通安全上作業が困難な箇所については市として定期的に清掃をしてはどうですか。

井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください。

市の新年度予算編成にあたり、10月に皆様のご意見・ご要望を新年度予算編成に取り入れていただくため、日本共産党として毎年「要望書」を市長に提出しています。

皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう奮闘したいと考えています。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望を、お近くの党員が下記の電話等にお気軽にお寄せください。

日本共産党後援会事務所 TEL 62-6200 FAX 62-6209
森本ふみお宅 TEL 62-6061 FAX 62-6081
石井 敏夫宅 TEL 62-4667 FAX 62-4726